

製品名: Kpm ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13099**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	LATS2
別名	LATS2; KPM; Serine/threonine-protein kinase LATS2; Kinase phosphorylated during mitosis protein; Large tumor suppressor homolog 2; Serine/threonine-protein kinase kpm; Warts-like kinase
遺伝子 ID	26524.0
SwissProt ID	Q9NRM7
免疫原	抗血清はヒト LATS2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 541-590

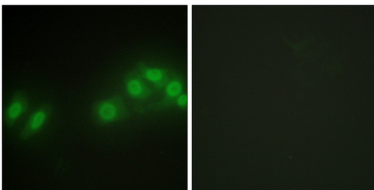
背景

この遺伝子は、LATS 腫瘍抑制因子ファミリーに属するセリン/スレオニンタンパク質キナーゼをコードしています。このタンパク質は、間期、前期および後期中期に中心体に局在します。中心体タンパク質であるオーロラ A およびアジュバと相互作用し、有糸分裂開始時の γ -チューブリンの蓄積と紡錘体形成に必要です。また、p53 の負の調節因子とも相互作用し、細胞骨格の損傷に応答する p53 との正のフィードバックループで機能する可能性があります。さらに、アンドロゲン応答性遺伝子発現のコリプレッサーとしても機能します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 中心体の複製、有糸分裂忠実度の維持、およびゲノム安定性に重要な役割を果たす腫瘍抑制因子。サイクリン E/CDK2 キナーゼ活性を下方制御することにより、G1/S 期遷移を負に制御します。アンドロゲン受容体の負の制御因子です。PTM:細胞周期の M 期および G1/S 期に自己リン酸化およびリン酸化されます。STK3 によってリン酸化および活性化されます。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーです。類似性:AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含みます。類似性:タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含みます。類似性:UBA ドメインを 1 つ含みます。細胞内局在:間期、前期初期、および細胞質分裂中に、STK6 と共存して中心体に局在します。有糸分裂中には紡錘体極へ、細胞質分裂中には中体へ移動する。サブユニット: STK6 と相互作用し、リン酸化を受ける。AR に結合する。有糸分裂中には JUB と相互作用し、この複合体は γ -チューブリンを中心体ヘリクルートすることにより紡錘体装置の組織化を制御する。組織特異性: 心臓および骨格筋で高発現し、調査した他のすべての組織では低発現であった。

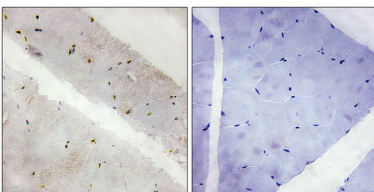
研究分野

-

画像データ



LATS2 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



LATS2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト骨格筋組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。